

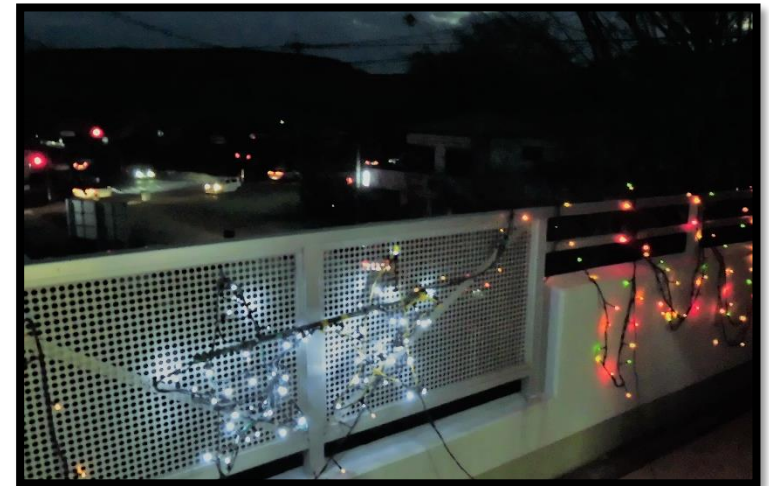
イルミネーション(療養)

12月は毎年恒例のイルミネーションの点灯を行いました。(期間は12月25日まで)

昨年までは屋外にも飾り付けを行っていましたが、今年が入所している御利用者様がより楽しんで頂けるように、室内から楽しめる場所をメインに飾りました。

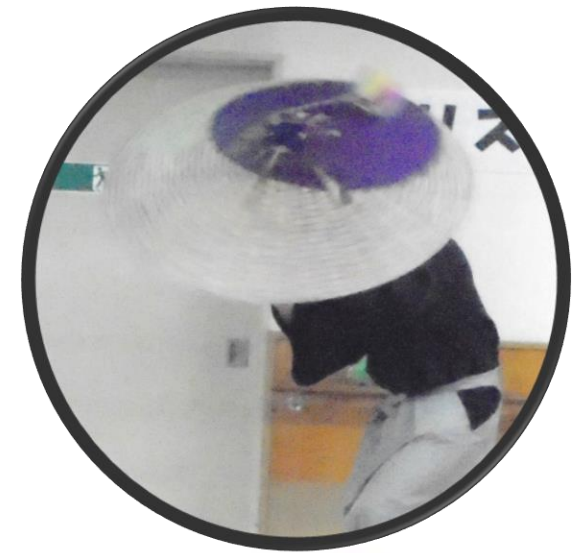
御利用者様から「わあー、キレイ！！」、「サンタさんに何をお願いしようかしら。」、「私たちが小さい頃はクリスマスなんて無かった。」など様々な感想を頂きました。

コロナ禍で大変な時期ですが、少しでも季節感と小さな感動を与えられるように、これからも様々なイベントを行っていきたいと思います。



クリスマス会（療養）

今年のクリスマス会は、クリスマスソングにあわせて大きな声で歌ったり、楽器を鳴らすことが出来ない分、ご利用者様に観て楽しんでいただけるよう、職員が一芸披露に奮起しました♪
2階では、若手介護福祉士が『傘回し』に初挑戦！
見事に！・・・回しきれませんでした。そのハラハラ感が皆さんには刺激的だったようです。
3階では、芸達者なベテランスタッフ2名が衣装から、パフォーマンスまで完璧な『☆ひげダンスSHOW☆』を繰り広げ、笑顔溢れる会となりました。



クリスマス会（通所）

例年とは違い、コロナ禍で感染対策を実施しながら、12/24・25にクリスマス会を行いました。
毎年恒例の職員によるハンドベル演奏を行いました。「きよしこの夜」、「クリスマスソング」、「故郷」などを披露し、綺麗な音色にご利用者様たちはうっとり。
また、「津軽海峡冬景色」に合わせた歌体操では、今年のリハビリの成果を発揮し、しっかりと身体を動かしておられました。締めくくりは、謎の美女によるマジックショーもあり、大きな拍手をいただきました。



クリスマス会（献立）

日本では12月になると、街がイルミネーションで飾られ、クリスマスソングが流れます。

昭和後期から平成初期頃までは、クリスマスは家族で過ごすより恋人と過ごす日というイメージでしたが、近年はクリスマスを家族で過ごす人も増えているそうです。

また、日本のクリスマスケーキは、華やかに飾られたものが多く日本独自のものだそうです。1950(昭和25)年頃、ベビーブームといわれる世代により、子どもの数が爆発的に増加。この頃、不二家が日本のクリスマスケーキの原型を作ったといわれています。その後デパートのクリスマス商戦が過熱するようになり、クリスマスは日本に定着したようです。

おおつかの郷では2日間に渡り、クリスマスメニューを用意しました。喜んで頂けることを願い、栄養科スタッフが作りました☆彡



- ・ショートケーキ
- ・苺ババロア
- ・抹茶プリン
- ・レアチョコケーキ
- ・オレンジ水羊かん

12/24 おやつバイキング



- ・チキンライス
- ・ミートローフ
- ・グリーンサラダ
- ・コンソメスープ

12/25 クリスマス献立(昼食)